

特集

産科混合病棟の中で 助産師にできること

少子化を背景に、産科病棟の混合化が進行しています。日本看護協会が2016年に行なった調査では、8割近い施設が産科混合病棟であるという結果が示されました。産科混合病棟の何よりの問題点は、安全で安心な出産環境の確保が難しくなることでしょう。助産師が他科患者を受け持つことで、妊産褥婦へのケア提供に専念できない状況があります。

本特集では、産科混合病棟の現状について、最新のデータを示しながらその問題点や課題を解説していただきます。また、実際に産科混合病棟で働く管理者の方々に、自施設の現状や課題、それらとどう向き合い乗り越えてきたのかについてご紹介いただくことで、日常臨床における課題を解決するためのヒントを得たいと思います。